



無党派 山田邦夫 やまだ くにお

Q ごみ減量と環境美化を改善せよ

A 村上環境課長
ごみ出しのルールを周知徹底し、改善したい。



▲ごみ出しのモラル・マナーの改善を

表題は町の重要な方針であるが、改善を要する問題点が多く、推進力に欠けている。

問 可燃ごみは、年間6600ト、町民一人当たり180kgで近隣市町の平均166kgより多い。①事業系ごみ

②生ごみ処理③缶・ビンがピンクのごみ袋で出されている。これらの改善は、できないか。

村上環境課長 可燃ごみは、着実に減ってきている。①商工会を通じて、事業者にもルールの徹底②水切りの徹底③環境美化指導員などの

協力による、住民へのモラル・マナーの周知徹底などで改善したい。

問 町の玄関口、近鉄の駅周辺、国道一号、尾張中央道沿線、蟹江インター周辺のごみ汚

れはひどい。対策せよ。水野産業建設部長 町内美化清掃で、鉄道事業者にも協力を要請している。

幹線道路は、町道・県道の区別なく道路パトロール中でも対応し、東名阪の側道は、フェンスなどを設置し、対応している。

Q 同報無線で十分ですか

A 山内消防長
個別受信機など、別の方法を検討したい。



▲町内に設置してある同報無線

衛星を利用した全国瞬時警報システムが年内に開始される。

同報無線は、室内で聞き取りにくく、にわか地震では安全が確保できない。

問 同報無線の電波を直接受信する防災行政ラジオを採用する自治体は、県内で5市1村ある。導入できないか。

山内消防長 無線の出力を上げると、同じ周波数を使用する市町村とで、無線が混乱するため、導入は難しいが、個別受信機を含め、防災情報のメール配信な

どの方策を検討したい。

問 ある自治体では、詳細地震情報の校内放送システムを導入した。採用できないか。

加賀教育部長 小学校では、各教室のデジタルテレビに緊急避難画像を流し、避難を円滑に進めることが可能になった。これは、NHK放送から情報を得て流すため、タイムロスがある。

質問のシステム導入は、防災担当などと検討したい。



清新クラブ 米野秀雄 こめの ひでお